

グループホーム無量荘 運営推進会議

令和8年2月26日(水) 14:00～

参加者：

紺野様(千渡地区民児協会会長)、丸山様ご夫婦(ご家族代表)、塩川様(ご家族代表)
深田様(鹿沼北地域包括)、五月女様(鹿沼市介護保険課)、石綱(福聚会副代表)、廣木、深谷

1) 事業所活動報告

事業所より、別紙「グループホーム無量荘 活動報告」に基づき、入居状況、管理体制、職員体制及び活動状況について報告を行った。

(1) 入居状況について

令和8年2月26日現在、入居者数は1階9名、2階7名の計16名であることを報告した。
平均要介護度については、1階が1月時点で2.2、3月予定で2.6、2階が1月時点で2.6、3月予定で2.2となっていることを説明した。

(2) 管理体制・職員体制について

令和8年2月現在の管理体制について、管理者・計画作成担当者は石綱秀行が担っていること、計画作成担当者1名が退職したことを報告した。
また、1階スタッフの病気療養からの復職、別の1階スタッフの病気療養中の状況、派遣スタッフ及び短時間スタッフ、調理スタッフ、理容師であるパートスタッフの雇用状況について報告した。

参加者からは、職員体制の変化がある中でも、入居者の生活が安定して継続できるよう配慮してほしいとの意見があった。

事業所からは、職員間で情報共有を行い、勤務体制の調整を図りながら、入居者の安全と生活の質の維持に努めていく旨を説明した。

2) 入居者様の生活状況報告

別紙活動報告に基づき、1月・2月の入居者の生活状況について報告を行った。

節分行事では、市内のひろ寿司様より恵方巻の寄贈を受け、入居者へ季節の行事食として提供したことを報告した。食事を通じて「昔は家で巻いた」などの会話が自然に生まれ、回想を交えた和やかな時間となったことを説明した。

また、1月・2月は寒さが厳しい時期であったため、外出については体調を優先し、安全を確保したうえで短時間の散歩を中心に実施したことを報告した。無理のない範囲で日光浴や外気浴を取り入れ、生活リズムの維持に努めた。

室内活動については、入居者それぞれの状態や希望に応じ、家事活動や日常的な役割づくりを意識して取り組んだことを報告した。掃除、食事準備、洗い物、テーブル拭きなど、できることを継続していただくことで、生活の中での役割や自信の維持につながるよう支援していることを説明した。

参加者からは、写真を見ながら、入居者が穏やかに過ごしている様子が伝わるとの意見があった。また、地域からの寄贈や交流が入居者の楽しみにつながっているため、今後も地域とのつながりを大切にしてほしいとの意見があった。

事業所からは、今後も季節行事や日常生活の中での役割づくりを大切に、入居者一人ひとりが安心して過ごせるよう支援していく旨を説明した。

3) 家族の会について

家族の会の設立について、事業所より説明を行った。

家族の会は、入居者家族同士の交流、事業所との情報共有、入居者の生活状況への理解を深めることを目的として設立を検討していることを説明した。

また、家族の意見や希望を把握し、よりよい事業所運営につなげる場として活用していくことを報告した。

運営方法案として、定期的な開催のほか、行事や運営推進会議と関連づけた開催、必要に応じた意見交換の場の設定などを検討していることを説明した。

今後のスケジュールについては、家族への案内を行い、参加意向を確認したうえで、設立時期や開催方法を決定していく予定であると報告した。

参加者からは、家族が事業所の様子を知る機会になるため、無理のない形で進めるとよいとの意見があった。

また、参加が難しい家族もいるため、書面や写真、電話連絡等も活用しながら、情報共有の方法を工夫してほしいとの意見があった。

事業所からは、家族の負担にならない形を基本としながら、入居者の生活の様子や事業所の取り組みを丁寧に伝えていく旨を説明した。

4) 運営推進会議を通した外部評価について

運営推進会議を通した外部評価について説明を行った。

事業所の活動状況、入居者の生活状況、地域との関わり、家族との連携、職員体制等について、参加者から意見をいただき、今後の運営改善に活かしていくことを確認した。

参加者からは、入居者の表情や日常の様子から、落ち着いた生活が送れていることが伝わるとの意見があった。

一方で、職員体制に変化がある時期であるため、職員の負担が過度にならないよう、安定した体制づくりを進めてほしいとの意見があった。

事業所からは、今回いただいた意見を踏まえ、入居者の安全確保、生活の質の向上、職員体制の安定、家族及び地域との連携強化に継続して取り組む旨を説明した。

5) その他

(1) 次年度の運営推進会議について

次年度の運営推進会議について、引き続き定期的を開催し、事業所の運営状況や入居者の生活状況について報告するとともに、参加者から意見をいただきながら運営改善につなげていくことを確認した。

開催日程については、年間予定を調整のうえ、改めて参加者へ案内することとした。

5. 主な意見・要望

入居者の日常生活の様子が写真からよく伝わり、安心感がある。

季節行事や地域からの寄贈は、入居者の楽しみや会話のきっかけになっているため、今後も継続してほしい。

寒い時期は無理な外出を避け、体調に合わせた活動を行っている点はよい。

室内での役割づくりは、入居者の自信や生活意欲につながるため、今後も大切にしてほしい。

職員体制の変化があるため、職員間の情報共有と安定した支援体制の確保をお願いしたい。

家族の会については、家族の負担にならない形で、参加しやすい方法を検討してほしい。

6. 今後の対応

事業所として、以下の点に取り組むことを確認した。

1. 入居者一人ひとりの体調や生活リズムに配慮した支援を継続する。
2. 季節行事や日常生活の中での役割づくりを通じ、生活の質の向上を図る。
3. 職員体制の安定に向け、情報共有と業務調整を行う。
4. 家族の会の設立に向け、目的や運営方法を整理し、家族へ案内を行う。
5. 運営推進会議で出された意見を今後の事業所運営に反映する。

7. 次回開催予定

令和8年3月 日 () 時 分～

場所：グループホーム無量荘

※日時は調整のうえ決定する。

以上

令和8年2月

グループホーム無量荘 活動報告

<ご入居者状況>

1階	9名	平均要介護度 2.2 (1月) ⇒2.6 (3月予定)
2階	7名	平均要介護度 2.6 (1月) ⇒2.2 (3月予定)
計 16名		令和8年2月26日現在

<管理体制について>令和8年2月現在

- ・管理者・計画作成担当者⇒石綱秀行 計画作成担当者は退職
- ・1F スタッフ病気療養から復職 (～2月)
- ・1F スタッフ病気療養中 (1月～)
- ・派遣スタッフ雇用 (1月)・短時間スタッフ雇用 (2名)
- ・調理スタッフ雇用 (1名)・パートスタッフ (理容師)

<活動報告>

・節分行事

節分では、市内の ひろ寿司様 より恵方巻のご寄贈をいただきました。季節を感じる行事食として提供し、「昔は家で巻いたんだよ」などの会話が自然に生まれ、回想を含めた楽しい時間となりました。



資料 1



資料 1



資料 1



1月・2月は寒さが厳しい時期であるため、外出機会は体調を優先しつつ、安全を確保したうえで短時間の散歩を中心に行いました。

無理のない範囲で日光浴や外気浴を取り入れ、生活リズムの維持に努めました。

また、室内活動を充実させることを重点とし、入居者様それぞれの役割の再構築を行いました。